

日沿道の重要性



日沿道

太田 薫 議員

酒田遊佐線の 早期実現にむけて

問 長い間待たされた高速道路が目前まで迫ってきた。地域発展のためにも整備の促進を願ってきたが、今般都会の一部の世論では採算が取れない地方道は税金の無駄遣いであるし、不必要だという。

そんな世論をよく聞くと、地方の本来の役目や、本当の良さが伝わっていない。

今、原点に帰って地方の役目や、交流・連携の意義、地方の大切さを明確に発信する必要があるのであるのか。

地方に高速道を整備することが都会人の大いなる期待になるような情報発信が必要と

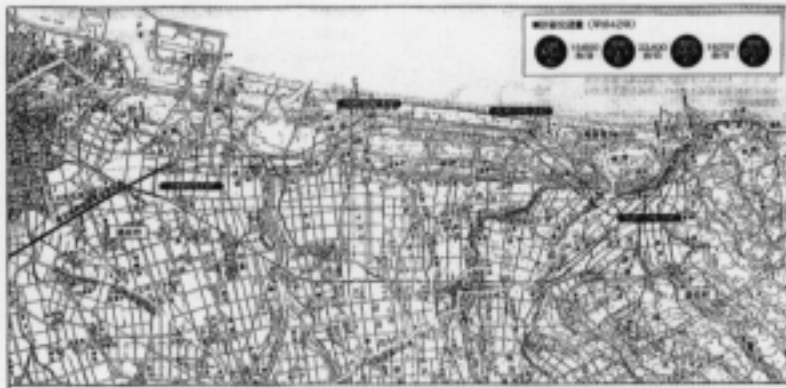
考える。地方の意見を行政の壁を越え連携して発信できないか。

町長 酒田みなとインター以北の遊佐地内の環境影響調査は平成十二年の公告縦覧以来、住民等の意見を反映させ、都市計画案等を作成中と聞いている。

道路の計画帯は酒田みなとから遊佐インターまでの区間で延長約十二km、その幅は国道七号から旧国道七号の区域で、交通渋滞の緩和や地震や津波など災害時の代替路と緊急時の迅速な搬送等が期待されている。

路線計画は日向川から服部興野、十里塚付近を経由して遊佐インターに結ぶ法線で、現国道にはハーフインターの設置や自然環境への十分な配慮を行うと伺っている。

また日沿道の必要性を認識しつつも黒松の保全のためルートを変更してはとの意見等が出されており、地元をはじめ関係機関の理解と協力を得ながら一日も早い合意形成に取り組んでいきたい。



完成がまつれる日沿道